

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成 30 年 6 月 日

川越市長 川合 善明 殿

提出者

住 所 埼玉県所沢市美原町5丁目2019番地の7

氏 名 西武建設株式会社関東支店

支店長 茂木 善和

電話番号 04-2991-3444

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	西武建設株式会社 関東支店
事業場の所在地	埼玉県所沢市美原町5丁目2019番地の7
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	1, 251, 300万円
③従業員数	55人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	コンクリート・アスコンがら→再生処理業者に委託(破碎)→再生アスファルト、再生碎石等 がれき類・ガラス陶磁器くず→再生処理業者に委託(破碎)→再生路盤材、再生埋戻材等 廃プラスチック類→再生処理業者に委託(破碎)→塩ビ管、代替え燃料等 金属くず→再生処理業者に委託(破碎)→金属原料 混合廃棄物→再生処理業者に委託(分別)→各品目毎に別々 紙くず・木くず・繊維くず→再生処理業者に委託(破碎)→再生紙、代替え燃料等 廃石膏ボード→再生処理業者に委託(破碎)→再石膏ボードの原料

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙 建設副産物対策管理組織図			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	廃プラスチック類
	排出量	3,024.825 t	80.125 t
	(これまでに実施した取組)		
ISO14001の運用			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	廃プラスチック類
	排出量	3,024.825 t	80.125 t
	(今後実施する予定の取組)		
ISO14001の運用			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
ISO14001の運用			
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
ISO14001の運用			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙 建設副産物対策管理組織図

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	152.52 t	24.1 t
	(これまでに実施した取組) ISO14001の運用		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	152.52 t	24.1 t
	(今後実施する予定の取組) ISO14001の運用		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ISO14001の運用
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ISO14001の運用

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙 建設副産物対策管理組織図

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物(管理型)	アスコンがら
	排出量	61.695 t	164.7 t
	(これまでに実施した取組) ISO14001の運用		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物(管理型)	アスコンがら
	排出量	61.695 t	164.7 t
	(今後実施する予定の取組) ISO14001の運用		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ISO14001の運用
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ISO14001の運用

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙 建設副産物対策管理組織図

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器くず
	排出量	4.25 t	10.35 t
	(これまでに実施した取組) ISO14001の運用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器くず
	排出量	4.25 t	10.35 t
	(今後実施する予定の取組) ISO14001の運用		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ISO14001の運用
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ISO14001の運用

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙 建設副産物対策管理組織図

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	82.15 t	t
	(これまでに実施した取組) ISO14001の運用		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	廃石膏ボード
	排出量	82.15 t	t
	(今後実施する予定の取組) ISO14001の運用		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ISO14001の運用
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ISO14001の運用

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	廃プラスチック類
	全処理委託量	3,024.825 t	80.125 t
	優良認定処理業者への処理委託量	3,024.825 t	80.125 t
	再生利用業者への処理委託量	3,024.825 t	80.125 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
再生率の高い中間処理業者への依頼			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（平成29年度実績）】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成29年度実績）】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	152.52 t	24.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	152.52 t	24.1 t
	再生利用業者への処理委託量	152.52 t	24.1 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
再生率の高い中間処理業者への依頼			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（平成29年度実績）】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（平成29年度実績）】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物(管理型)	アスコンがら
	全処理委託量	61.695 t	164.7 t
	優良認定処理業者への処理委託量	61.695 t	164.7 t
	再生利用業者への処理委託量	61.695 t	164.7 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	再生率の高い中間処理業者への依頼		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（平成29年度実績）】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成29年度実績）】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器くず
	全処理委託量	4.25 t	10.35 t
	優良認定処理業者への処理委託量	4.25 t	10.35 t
	再生利用業者への処理委託量	4.25 t	10.35 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
再生率の高い中間処理業者への依頼			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（平成29年度実績）】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（平成29年度実績）】		
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	
	全処理委託量	82.15 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	82.15 t	t
	再生利用業者への処理委託量	82.15 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
再生率の高い中間処理業者への依頼			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	廃プラスチック類
	全処理委託量	3,024.825 t	80.125 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	3,024.825 t	80.125 t
	再生利用者への 処理委託量	3,024.825 t	80.125 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
再生率の高い中間処理業者への依頼			
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	152.52 t	24.1 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	152.52 t	24.1 t
	再生利用業者への 処理委託量	152.52 t	24.1 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
再生率の高い中間処理業者への依頼			
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物(管理型)	アスコンがら
	全処理委託量	61.695 t	164.7 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	61.695 t	164.7 t
	再生利用業者への 処理委託量	61.695 t	164.7 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
再生率の高い中間処理業者への依頼			
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器くず
	全処理委託量	4.25 t	10.35 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	4.25 t	10.35 t
	再生利用業者への 処理委託量	4.25 t	10.35 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
再生率の高い中間処理業者への依頼			
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	
	全処理委託量	82.15 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	82.15 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	82.15 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
再生率の高い中間処理業者への依頼			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

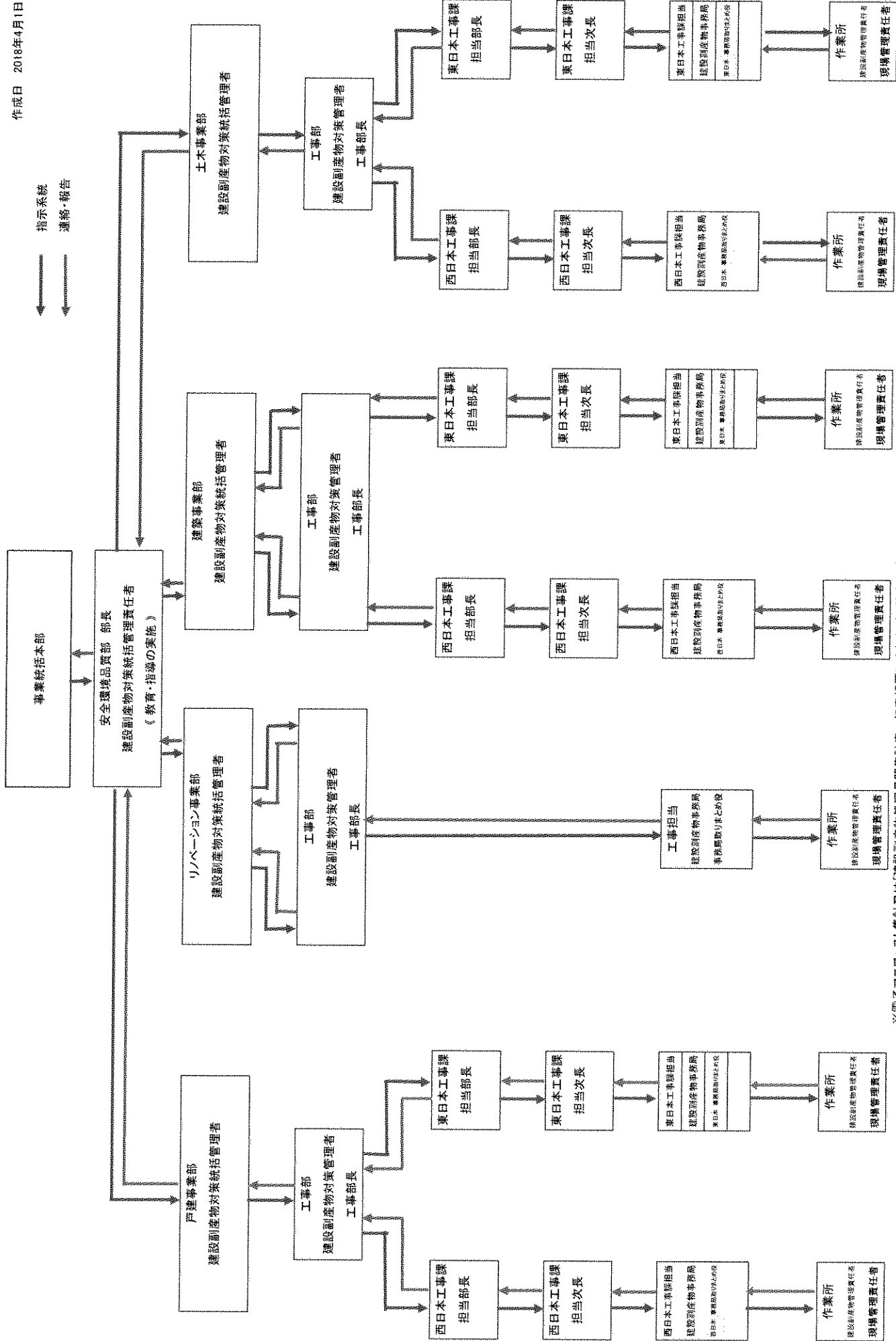
建設副産物対策管理組織図

サイボウズ>ISO関連資料>環境MS>関連資料

別紙1

作成日 2018年4月1日

指示系統
連絡・報告



※電子マニフェスト集計又は「建設副産物処理月間集計表」・任意帳票にまとめ、処理結果がいつでもわかるよう記録を整理する。可能な場合、紙マニフェストは、イー・バーパスに登録する。
※毎年4月3日まで及び工事竣工後に、建設副産物処理実績数量を取りまとめた地区担当部署の担当者へ報告する。